



踊る。秋田

International Dance Festival 2016
Baku Ishii & Tatsumi Hijikata memorial

主催：石井漢・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル実行委員会
共催：一般社団法人 パフォーミングアーツ・ラボラトリー

文化庁 平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

一般財団法人 地域創造 平成28年度 地域の文化・芸術活動助成事業
Japan Foundation for Regional Art-Activities

あきた県民文化芸術祭 2016・参加事業

必聴のダンス講座 & アートマネジメント講座
目から鱗が何枚も落ちる！
昨年の圧倒的好評に添えて、今年には豊富なラインナップを用意しました。

ダンス講座

『クラシックバレエから コンテンポラリーダンスまで』

講師／鈴木晶、乗越たかお、山川三太

昨年の圧倒的好評に添えて、今年もアンコール開催！バレエって何が面白いの？モダンダンスって難しくて見方がわからない。そんなあなたに送るダンスレクチャー講座。この講座を受講すれば、目から鱗が何枚も落ちること請け合いです。

平成28年6月4日(土) 16:00～ 秋田市文化会館小ホール 入場無料

ダンス寺子屋シリーズ

『土方巽とは誰か1』

～ダダからシュルレアリスムへ～

講師／山川三太

舞踏ってドタバタ動いているだけで、ちっとも綺麗じゃないし、意味がわからない。だいたい、どうして身体を白く塗るの？そんな疑問にキチンと答えます。土方巽の舞踏は何から始まったのか、どうして身体を白く塗るのか。なぜソックと舞台に立たないのか。この寺子屋に来れば、土方巽の表現の原点がわかります。

平成28年7月10日(日) 14:00～ にぎわい交流館AU 研修室1 入場無料

ダンス寺子屋シリーズ

『土方巽とは誰か2』

～アンドレ・ブルトンとマルセル・ブルースト～

講師／山川三太

土方巽の難解な著作『病める舞姫』は、どうして世界中の学者の研究対象になっているのか。いったい、あの本で土方巽は何が書きたかったのか。土方巽が傾倒した二人の巨人、アンドレ・ブルトンとマルセル・ブルーストの著作を手がかりに、その謎に迫ります。

平成28年8月20日(土) 18:30～ にぎわい交流館AU 研修室1 入場無料

鈴木 晶

バレエ評論家、法政大学教授。
日本のバレエ研究の第一人者。
著書／『踊る世紀』、『ニジンスキー 神の道化』、『バレエとダンスの歴史 欧米劇場舞踊史』、『オペラ座の迷宮 バリ・オペラ座バレエの350年』、訳書／『ディアギレフ 芸術に捧げた生涯』など多数。

乗越たかお

ダンス評論家、作家。
コンテンポラリー・ダンスに関する執筆・出版・レクチャーを活発に行い、日本各地・世界各国のフェスティバルにも尽力する第一人者。
著書／『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』、『どうせダンスなんか観ないんだろ!? 激闘コンテンポラリー・ダンス』、『ダンスバイブル コンテンポラリー・ダンス誕生の秘密を探る』など多数。

山川三太

舞踊評論家、『踊る。秋田』フェスティバル・ディレクター。
かつては劇作家、演出家、俳優として劇団を主宰。劇団解散後はノンフィクションライターとして活動。舞踊評論は劇作家時代から『日本読書新聞』などに執筆。
著書／戯曲集『禮骨の指輪』、教養書『文化人類学通になる本』、バレエ関係書に『白鳥の湖伝説 ～小牧正英とバレエの時代～』などがある。

写真提供：羽永太郎氏